

あの日、あの時…、 佐賀には賢人たちがいた。

あなたは知っていますか？

佐賀には、かつて近代日本の礎を築いた賢人たちがいたことを。

あなたは知っていますか？

不老不死の薬を求めて、佐賀で数々の伝説を残した賢人がいたことを。

ある者は己の正義を貫くため兵を挙げ、ある者は弱い者のため国際法の舞台で戦い、

またある者は、その商才をもって日本に煎茶を広めていきました。

佐賀の至るところで見られる足跡のひとつひとつが、確かに彼らが佐賀にいたことを、雄弁に語りかけてきます。

彼らに会うことは出来ないけれども、彼らから学ぶことは出来ます。

さあ、出かけましょう。佐賀の賢人たちの足跡を辿る旅へ。



目次

鍋島直正
P3
すば抜けた
先進性を持つ名君。

大隈重信
P4
明治・大正
きっての傑物。

佐野常民
P5
揺るぎなき
博愛精神。

島義勇
P6
北の大地を
切り拓いた開拓者。

江藤新平
P7
「民権」を唱えた
初代司法卿。

副島種臣
P8
世界が認めた
正義の外務卿。

大木喬任
P9
教育制度の基礎を
作り上げた酒豪。

枝吉神陽
P10
日本の未来を説く
カリスマ学者。

相良知安
P11
ドイツ医学
導入の功績者。

徐福
P12
不老不死を求めた
浪漫の旅人。

堺茶翁
P13
煎茶を浸透させた
文化人。

成富兵庫茂安
P14
今も遺構が残る
治水の神



Nabeshima Naomasa

鍋島直正

すば抜けた先進性を持つ名君。



▲安政6年11月、江戸溜池邸にて撮影された46歳の直正。(鍋島報效会蔵)

日本をリードしたリーダーシップ

佐賀藩9代藩主・鍋島斉直の嫡子として江戸の佐賀藩邸に生まれる。17歳で家督を継ぎ10代藩主になると様々な改革を断行し、佐賀藩を幕末の雄藩にのし上げた。家督相続当初、藩の財政は逼迫していたため、直正はまず粗衣粗食令を出し、自らも率先。藩の役人の大幅なリストラ、借金の整理、磁器・茶・石炭などの産業育成を通して財政改革を行った。

教育にも力を入れ、藩校「弘道館」の拡充や洋学を学ぶ蘭学寮を設置。子息の成績によって父親の禄を決定するといった「文武課業法」を制定するなど、徹底して勉学を推奨した。また、医学寮を設置し、当時世襲制が当たり前だった医者の免許制度を日本で初めて取り入れ、さらに当時不治の病であった天然痘の根絶のため、種痘を自らの長男で試すことでその信頼性を世に示した。

そして長崎警備の名目の元、国防のための兵器の必要性を感じ、鉄製大砲鋳造のための反射炉を築いたり、理化学研究所「精煉方」や海軍伝習所を設置、国産初の蒸気機関の開発など、幕末佐賀藩の技術力は日本の最先端を走っていた。その結果として佐賀藩の軍事力と多くの優秀な人材は、明治維新期に大きな役割を果たし、日本の近代化を推進する原動力となった。

【概略年表】		
年	西暦	年齢
1814	文化11年	1
1830	天保元年	17
1835	天保6年	22
1840	天保11年	27
1844	弘化元年	31
1849	嘉永2年	36
1850	嘉永3年	37
1851	嘉永4年	38
1852	嘉永5年	39
1858	安政5年	45
1861	文久元年	48
1865	慶応元年	52
1869	明治2年	56
1871	明治4年	58
		1月18日死去

ショック! 意気揚々の御国入りのはずが…

17歳で家督を継いだ直正が、意気揚々と江戸から佐賀へ向かう途中、品川の宿で何と足止めを食らった。実は江戸の商人たちが未払い金の返済を求めて立ちふさがっていたのだ。直正は「これほどまでに藩の財政が逼迫しているのか」とショックを受け、それがトラウマとなって候約令など藩の様々な財政改革に打ち込んでいく。これらの借金も、その8割を放棄させ、残りを50年賦にするという、ほとんど踏み倒しに近い力技。しかしこの経験が佐賀藩が雄藩への道を進む一つのきっかけとなっていく。



▲「鍋島直正公御歴史百図」に記された品川宿での足止めの様子
西村慶介氏蔵(佐賀県立博物館保管)

敵か?味方か? のらりとかわす大胆さ

尊王か佐幕かで揺れる中、当時強大な軍事力を持つ佐賀藩の動向は各藩の気になる所だった。味方にしようと考えた幕府の使いに、直正は「痔でござってな」と断り真意を見せない。最後は倒幕軍につき、明治維新の大好きな原動力の一つとなつたが、直正は程なくして亡くなってしまう。「戦国の世に生まれていれば、もう少し面白い世を送っていたかもしれない。死ぬ際、そう漏らしたといわれる。



鍋島直正二行書「先憂後楽」
(佐賀県立博物館蔵)
國を思うものは、常に民に先立って國のことを憂い、民が楽しんだ後に自分が楽しむという意味で、直正の座右の銘。正に天下國家を憂い続けた直正の人柄を表す言葉

勉強するなら佐賀! 中央からの地方留学

明治政府の中心的人物であった岩倉具視は、多くの人材を輩出した佐賀藩の教育に強い関心を示し、自分の二人の息子を佐賀へ留学させた。当時、中央から地方への留学は珍しく、いかに優秀な教育の場として注目されていたかが分かる。二人の姿は、長崎にある佐賀の英語学校「致遠館」の集合写真にも見ることができる。



鍋島直正足跡探訪コース【約2時間半】(移動約55分+観光散策約95分)

モデルコース 数多くの直正の偉業を今に伝える資料館や史跡を巡り、その全容を知る

徒歩で約15分	①佐賀城本丸歴史館	徒歩で約5分	②佐嘉神社	徒歩で約25分	③徴古館	車で約10分	④築地反射炉跡	⑤神野公園の「隔林亭」
鍋島直正が再建した本丸御殿の一部を復元した歴史博物館。直正の功績や幕末佐賀藩の歴史を知ることができます。ガイドによる説明も。	所在地：佐賀市城内2-18-1 開館時間：9:30～18:00 休館日：12/29～1/1、臨時休館日 料金：見学無料 電話：0952-41-7550	鍋島直正が創設された神社。その象徴とも言える復元カノン砲に注目。	所在地：佐賀市松原2-5-22 開館時間：9:30～16:00(最終入館15:40) 料金：300円(中学生以下無料)	佐賀藩主・侯爵鍋島家伝来品の歴史博物館。佐賀県内初の博物館として、12代当主直映公により昭和2年に創設された。年に数回の企画展やイベント等を開催している。	所在地：佐賀市松原2-5-22 開館時間：9:30～16:00(最終入館15:40) 料金：300円(中学生以下無料) 電話：0952-23-4200	直正が長崎警備のための鉄製大砲を鋳造するために建設した国内初の反射炉跡。日本の近代化産業の原点とも言える場所。	所在地：佐賀市神園4丁目 開館時間：9:00～17:00(夏季のみ) 休館日：月曜(休日の場合は翌平日)、年末年始 料金：見学無料、堀茶一席300円(堀茶時間はお問い合わせください) 電話：0952-40-7162	直正の別邸「神野のお茶屋」の茶室を復元したものです。ひとときの間、殿様気分が味わえます。



えだ よし しん よう 枝吉神陽

日本の未来を説くカリスマ学者。



▲「神陽先生拝楠神図」(個人蔵／佐賀県立博物館寄託)
枝吉の姿を伝える唯一の絵図で、楠木正成を祀っている図

義祭の志士たちに慕われた高潔な師

藩校・弘道館の教諭であった枝吉南濠の長男として佐賀城下鬼丸町に生まれる。副島種臣は実弟。幼児期より神童と賞され、23歳の時には江戸幕府直轄の昌平坂学問所に学び、同舎の舍長を務める。帰郷した後は弘道館で教鞭を執る傍ら、父南濠の唱えた「日本一君論」を受け継ぎ勤王運動を行う。

1850年、楠木正成を祀る「義祭同盟」を結成。尊王思想を説き、江藤新平や大隈重信、副島種臣、島義勇、大木喬任など、後に明治政府の重鎮となる青年たちの眼を開かせた。

1862年、コレラに感染した妻をいたわり看病するうちに自身も感染し、先立つ妻を追うように2日後、世を去った。彼の人格や思想は義祭の青年たちの心に宿り、明治の国作りの随所随所で影響を及ぼすこととなる。



▲龍造寺八幡神社に伝わる義祭同盟の連名帳(龍造寺八幡神社蔵)



九州に枝吉先生あり 松陰が息をのむ「奇男兒」

枝吉の門下から明治政府で活躍する多くの偉人を輩出したことから「佐賀の吉田松陰」とも呼ばれているが、松陰は実際に佐賀に来て枝吉と会ったことがある。その印象は「奇男子」。後に九州に向かうという友人には、必ず枝吉を訪ねるように勧めている。また、水戸の藤田東湖と共に「東西の二傑」とも称されていた。



▲吉田松陰(国立国会図書館蔵)

その容姿は体育会系? 富士山だって下駄履きで

枝吉は残念ながら後ろ姿の肖像画しか残っていないが、伝えられるところによると、身体は大きく、足は長く、顔は角張っていて口は大きく、まじりは長く、目は輝き、声を出すと障子が震えたとか。一見、書生とは思えない体育会系の体型。弟の副島種臣の話によれば、20里(約80km)は毎日歩いてよいと言う程の健脚家で、江戸の昌平坂学問所(学校)にいた時は、下駄履きで富士登山をしたなど信じられない話もある。

討つべきは異国か幕府か 分裂した義祭同盟

枝吉が結成した勤王組織「義祭同盟」。しかし、黒船来航で世間の情勢が一変すると、次第に勤王運動が藩の不利益に繋がると考える保守派と、倒幕すら視野に入れた過激な改革派に分裂していく。そんな改革派を率いていたのが創設者の枝吉自身と弟・副島種臣の兄弟だった。結局その活動は藩政を動かすには至らなかったが、彼らの情熱は後の維新での精神的な礎となつた。



▲「義祭同盟」の象徴とも言える楠木正成と正行父子像。
楠神社の例祭(5月25日前後の日曜に開催)の時に開扉される

枝吉神陽足跡探訪コース【約2時間】(移動約70分+観光散策約50分)

モデルコース 義祭同盟の八幡神社から墓所まで、若者の育成に捧げた人生を辿る



①龍造寺八幡宮

境内にある楠神社(写真)は枝吉が主宰した義祭同盟の拝殿であり、ここから多くの俊英たちを輩出していた。

住 佐賀市白山1-3-2
TEL 0952-23-6049



②弘道館跡

枝吉が教鞭を取り、佐賀の多くの偉人を輩出した藩校・弘道館の跡地。石碑は微古館の西側に建ち、当時を偲ばせる。

住 佐賀市松原2-5-22(微古館横)
TEL 0952-23-4200



③枝吉神陽誕生地

佐賀城の南堀沿い、かつて枝吉家の屋敷があった所で、現在は社会福祉会館の駐車場。弟の副島種臣の誕生地も同地。

住 佐賀市本庄町大字本庄7-18
TEL 0952-24-9005



④梅林寺

義祭同盟結成まで、楠公父子の木像が安置されていた寺。1850年の結成後、数年間はここで楠公を祀る義祭が執り行なわれた。

住 佐賀市本庄町大字本庄1112-1
TEL 0952-23-6486
料 大人300円 中学生200円
祝 お誕生日(12/30~1/3)



⑤高伝寺

鍋島家、龍造寺両家の菩提寺です。明治の思想家枝吉神陽の遺徳碑と並んで実弟副島種臣の墓があり、二人の威徳を偲ぶことができる。

住 佐賀市八戸1-4-19
TEL 0952-23-4200
料 大人300円 中学生200円
祝 お誕生日(12/30~1/3)

相良知安足跡探訪コース【約2時間】(移動約75分+観光散策約45分)

モデルコース 相良が半生を過ごし、戻る事のなかった佐賀での軌跡をたどる



①相良知安生誕地

長崎街道沿いで、現在はアパートの駐車場。小さい頃、江藤と一緒に遊んだ龍雲寺も近く、幼い二人はどんな姿だったのだろう。

住 佐賀市城内2-1-41
TEL 0952-26-7218
料 毎月最終水曜日、特別整理期間、年末年始(12/30~1/3)
祝 お誕生日(12/30~1/3)



②弘道館跡

相良や江藤と共に学んだ佐賀藩の藩校。明治政府で活躍した多くの偉人を輩出し、近代日本成立に大きな役割を果たした。

住 佐賀市城内2-1-41
TEL 0952-23-4200
料 毎月最終水曜日、特別整理期間、年末年始(12/30~1/3)
祝 お誕生日(12/30~1/3)



③佐賀県立図書館

相良による「医制略則」等、関連資料や文書などを多数保存。事前連絡すれば閲覧も可能で、本物の持つ息吹を感じられる。

住 佐賀市城内2-1-41
TEL 0952-23-4200
料 毎月最終水曜日、特別整理期間、年末年始(12/30~1/3)
祝 お誕生日(12/30~1/3)



④相良が学んだ
藩医学校「好生館」跡

現在は佐賀メディカルセンタービル。相良は安政3(1856)年に藩医学校に入学。「医学寮」は安政5(1858)年に水ヶ江へ移転し、藩主鍋島直正公は「好生館」と命名する。慶応4(1868)年、長崎で蘭医学を学んで帰郷した相良は、好生館「教導方差次」(准教授)に就任し西洋医学を教授した。

住 佐賀市水ヶ江1-12-10
TEL 0952-23-4200
料 毎月最終水曜日、特別整理期間、年末年始(12/30~1/3)



⑤城雲院

佐賀銀行本店南の小路を東に入るところ。境内にひっそりと建つ相良の墓に手を合わせ、その熱い生涯に思いを馳せよう。

住 佐賀市唐人2-7-5
TEL 0952-26-7218
料 毎月最終水曜日、特別整理期間、年末年始(12/30~1/3)

さがらちあん 相良知安

ドイツ医学導入の功績者。



Sagara Chian



詳しくはコチラ!



▲長崎にてボーディン(左)と相良(右)ら門下生。
(「相良知安」所載)

立身より医学発展にかけた人生

藩医相良柳庵の三男として佐賀城下八戸村に生まれる。相良家は代々佐賀藩医の家系で、彼も医者の道を目指す事になる。

16歳で藩校弘道館に入學。19歳で洋学を学ぶ蘭学寮に進み、21歳で創設されたばかりの医学学校に入學。また、千葉の「佐倉順天堂塾」で医学を学び、長崎の「長崎養生所」ではオランダ人医師のボーディンに師事した。

33歳の頃に藩主鍋島直正の侍医として上京。明治になると、新生日本の医学校創設を任される。当時の明治政府内ではイギリス医学を日本の規範に決めていたが、長崎にて収集した異人たちの情報を基に、「ドイツ医学こそ世界最高水準」と明治の元勲たちの前でもひるまず堂々と主張。政府の方針を最終局面で覆した。

明治5年には第一大学区医学校(現東京大学医学部)の初代校長となり、さらに「医制略則」を起案。今日まで続く医学制度の基礎となっている。

しかしドイツ医学導入の件で一部藩閥の恨みを買ったせいか、後は重要なポストに就くこともなく、50歳の時には全ての官職を退く。晩年は易者(占い師)として、長屋で不遇の時代を過ごし、71歳でひっそりとその生涯を閉じることとなる。

【概略年表】

数え齢

1822	文政5年	1	5月24日、佐賀藩士枝吉南濠の長男として誕生
1844	弘化元年	23	江戸遊學を命じられ、昌平坂学問所で学ぶ
1846	弘化3年	25	諸国遊行の旅に出て、各地の文化に触れる 佐賀に戻り結婚
1847	弘化4年	26	佐賀を訪ねてきた吉田松陰と会い、松陰に感銘を与える 江戸の昌平坂学問所に復帰
1848	嘉永元年	27	昌平坂学問所の舍長に任命される
1849	嘉永2年	28	佐賀に戻り、弘道館で教鞭を執る
1850	嘉永3年	29	「義祭同盟」設立
1862	文久2年	41	コレラに感染した妻を看病し自らも感染、8月14日死去

【概略年表】

数え齢

1836	天保7年	1	2月16日、佐賀城下八戸村に三男として誕生
1851	嘉永4年	16	藩校弘道館に入学する
1854	安政元年	19	蘭学寮寮入寮
1861	文久元年	26	江戸及び下総(千葉県)の佐倉「順天堂塾」で蘭学を学ぶ
1863	文久3年	28	長崎にてボーディンに学ぶ
1865	慶応元年	30	長崎養生所を精得館と改め、館長となる/致遠館に入校
1867	慶応3年	32	好生館教導方差次となる
1868	慶応4年	33	上京
1869	明治2年	34	新政の医学校取調御用掛印付けられ、ドイツ医学導入決定
1872	明治5年	37	東校を第一大学区医学校と改め、校長となる
1873	明治6年	38	文部省医務局長兼建築局となる
1874	明治7年	39	相良の草稿を基にした「医制76ヶ条」を長与専斎が公布
1875	明治8年	40	本官を免ぜられる
1885	明治18年	50	7月、文部省御用掛印付けられる/12月、非職仰付けられる
1900	明治33年	65	勅五等に叙せられ、雙光旭日章を授けられる
1906	明治39年	71	6月10日、死去



徐福

不老不死を求めた浪漫の旅人。

佐賀に伝わる古代ミステリー

今から約2200年前、史上初の中国統一を果たし、あらゆる権力と富を手にした秦の始皇帝。絶対の権力者たる彼らは、不老不死の仙薬を求めて、蓬萊・方丈・瀛洲の三神山に向かって旅立つも、見つからず。

司馬遷が書いた中国の歴史書「史記」によると、徐福は始皇帝に「東方の三神山に不老不死の靈薬がある」と進言し、始皇帝の命を受け、3,000人の童男童女と多くの技術者を従え、五穀の種を持って、東方に船出し、「平原広沢(広い平野と湿地)」を得て、王となり戻らなかったと記されている。

この徐福の渡来伝説は日本各地に伝えられているが、特に佐賀には数多くの伝承が残されており、昔から「徐福さん」と呼ばれ親しまれている。

徐福が追い求めた フロフキは不老不死の薬?

仙薬を探す徐福が金立(きんりゆう)山で出会ったのは謎の仙人。徐福が仙薬の場所を訪ねると、仙人はゆがいでいる金の中を見せ、霧のように消えてしまった。その金の中にあったものこそ、徐福が求めていた仙薬で、「フロフキ」という薬草だった。フロフキは、今も金立山に自生しており、土地の人々は煎じて飲めば腹痛や頭痛に効果があると言う。



▲自生するフロフキ。徐福長寿館で実物を見ることができる。

同じ科のサイシンは実際に漢方薬として利用されている



▲「金立神社画図縁起」(金立神社蔵 佐賀県立博物館寄託)
画面は絹布3枚継ぎで、上段は金立神社上宮、中段は金立神社下宮、下段は徐福上陸の場となっている。かつて天皇や鍋島家も参拝したという由緒ある金立神社の姿を伝える貴重な資料

チャンスは一生に二度 50年に一度の幻の行列

徐福を祀る金立神社には、何と50年に1度開催される例大祭がある。また、神輿を担いで、徐福が上陸地から金立山まで辿った道を逆に下る「お下り神事」も開催される。次の開催は2030年。一生に一度か二度の貴重な機会だ。



▲前回の昭和55年4月に行われた例大祭の様子
(「佐賀に息づく徐福」所載)

概略年表

	数え年
BC.221	58
BC.219	60
BC.212	67
BC.210	69

斉の国が滅亡し、秦の始皇帝が即位
不老不死の仙薬を求め、蓬萊・方丈・瀛洲の三神山に向け旅立つも、見つからず
始皇帝に蓬萊に行けば仙薬が手に入るが大駭に邪魔されたり着けないと報告
童男童女3,000人と技術者、五穀や数々の道具を船に乗せて大船団で再び出航
始皇帝崩御

※徐福の生没年などは諸説あり



《徐福ゆかりの温泉に浸かろう!》

⑥古湯温泉

金立山の西にある古湯温泉は湯の神のお告げに導かれて、徐福が見つけたと伝えられている。泉質はアルカリ性単純温泉で美人の湯「ぬる湯」として評判が高い。徐福巡りの旅の宿に最適。

問 富士町観光案内所 ☎0952-51-8126



悲劇のもとは聞き間違い お辰との悲しい恋の物語

お辰は金立の地で徐福と恋仲になった娘。徐福が一時この地を離れる時、「5年後に戻る」との伝言があやまって「50年後」と伝わってしまったため、お辰は悲しみのあまり亡くなってしまう。これは中国、日本を含めて唯一伝わる徐福の悲しい恋の物語である。



①徐福上陸地(浮置)
徐福上陸の伝説の地で、現在は神社として拝殿や掲示板等が整備されている。ここから徐福巡りの旅をスタート!
所 佐賀市諸富町大字寺井津15隣

②新北(にきた)神社
境内のビャクシンは徐福が上陸の記念に、中国から持ってきた種を植えたものと伝えられ、貴禄ある姿を拝むことができる。
所 佐賀市諸富町大字為重1073

③お辰観音
徐福との悲恋の末に亡くなったお辰を偲ぶ観音像。お辰が「自分のようにはさせない」と、縁を結んでくれる。
所 佐賀市金立町千布3055-3付近

④徐福長寿館
日本唯一の徐福の公的資料館。佐賀の徐福伝説発信の中心施設で、徐福や薬草に関する様々な情報はここで得られる。
所 佐賀市金立町大字金立1197-166 開 9:00~17:00 休 月曜 祝日の翌日 年末年始
料 大人300円 小中学生150円 ☎0952-98-0696

⑤金立神社(上宮)
金立山頂にある、徐福を祀る神社。天皇も参拝した由緒ある神社で、その徳を感じつつ、徐福が開拓した佐賀平野を見渡そう。
所 佐賀市金立町大字金立3415 開 9:00~17:00 休 月曜 祝日の翌日 年末年始
料 大人300円 小中学生150円 ☎0952-98-1409

詳しくはコチラ!



▲不老不死の仙薬を発見したと言われる金立山を背景に立つ徐福像は、中国の連雲港市から送られた。



煎茶を浸透させた文化人。

詳しくはコチラ!



▲壳茶翁像(比喜多宇隆筆/部分)
(佐賀県立博物館蔵)

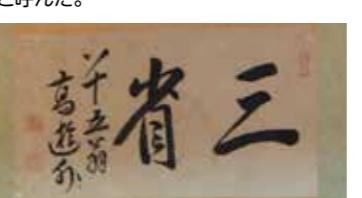
【概略年表】

	数え年	年
1675	延宝3年	1
1686	貞享3年	12
1687	貞享4年	13
1688	元禄元年	14
1696	元禄9年	22
1707	宝永4年	33
1731	享保16年	57
1735	享保20年	61
1742	寛保2年	68
1763	宝曆13年	89

煎茶で真理をわかつち合った風流人

煎茶の祖、高遊外売茶翁は延宝3年、佐賀蓮池支藩の藩医の三男として誕生。11歳で龍津寺に出来し僧名は月海。22歳で修行不足を恥じ江戸、仙台等各地へ出かけた。煎茶は長崎の中国僧から習ったとの説もある。また、隱元禪師が京都宇治に開いた、黄檗山(おうばくさん)萬福寺でも修業、中国伝来の文化に触れ、視野を広げた。晩年、龍津寺を弟子に託し再上洛。洛中に「通仙亭」という庵を構え、茶を売りながら禅や人の生き方を説いた。その姿に人々は親しみを込めて「壳茶翁」と呼んだ。

通仙亭には文人墨客が集まり「壳茶翁」に一服接待されなければ一流の文人とは言えないといわれ、伊藤若冲や池大雅などが集まり、若冲は壳茶翁の肖像画も多数書き残している。漢文にも堪能で、漢詩や和歌を残し、書家としても超一級の人物であった。



▲85歳時の壳茶翁直筆の書。「三省」とは中国の曾子(そうし)の言葉で毎日何度も自分の行動を反省する意(NPO法人 高遊外売茶翁顕彰会蔵)

本名?あだ名? 壳茶翁の名前

壳茶翁という名前ではなく、お茶を売る翁(おきな)という意味のあだ名のようなもの。本名ではないが、本人も時にはこの名前を記す事もあった。本名は柴山元昭、幼名は菊泉。僧侶としての名前は月海で、晩年は高遊外と名乗っていた。ちなみに高が姓で、遊外が名前。

難解だけど面白い 壳茶翁のユーモア

「茶銭は黄金百鎰(いつ)より半文銭までくれください。ただで飲むも勝手なり。ただよりほかはまけ申さず」(訳:お茶の代金は小判二千両から半文までいくらでも結構。ただで飲んでも結構。ただし安くはできません)これは壳茶翁が煎茶を売る時に掲げた言葉。ユーモアあふれる言い回しに、ぜひ本人に会ってみたくなる。



▲「壳茶翁偈話」(ばいざおうげ)
壳茶翁が著したお茶の歴史や作法などをまとめた本(NPO法人 高遊外売茶翁顕彰会蔵)

自然に人が集う人柄 文化人が常に集う場所に

壳茶翁のその自由な精神に魅かれたのか、周りには多くの人々が集まっている。江戸時代の天才画家、伊藤若冲もその一人。人物画を描かなかった若冲がただ一人描いたのが壳茶翁であり、壳茶翁からもらった「丹青活手の妙、神に通ず(彩色の素晴らしさは正に神業である)」の一言書を印にし、絵に捺している程心酔していた。



▲「壳茶翁偈話」(ばいざおうげ)
壳茶翁が著したお茶の歴史や作法などをまとめた本(NPO法人 高遊外売茶翁顕彰会蔵)

不憚な思いはさせない 茶道具への深い愛情

死期を感じた壳茶翁は売茶業を廃し、自分の茶道具も燃やしてしまう。これは自分の死後、俗世に渡り、売買されるようなことになれば、茶道具自身が悲しむとの想いで、壳茶翁の道具に対する愛情の表れだった。



▲佐賀市の観光文化施設、肥前通仙亭では、壳茶翁ゆかりの資料や茶道具を展示

壳茶翁足跡探訪コース【約2時間】(移動約65分+観光散策約55分)

モデルコース 上陸の地から、仙薬を見つけたという金立山までの道程をたどる



①徐福上陸地(浮置)

徐福上陸の伝説の地で、現在は神社として拝殿や掲示板等が整備されている。ここから徐福巡りの旅をスタート!

所 佐賀市諸富町大字寺井津15隣



②新北(にきた)神社

境内のビャクシンは徐福が上陸の記念に、中国から持ってきた種を植えたものと伝えられ、貴禄ある姿を拝むことができる。

所 佐賀市諸富町大字為重1073



③お辰観音

徐福との悲恋の末に亡くなったお辰を偲ぶ観音像。お辰が「自分のようにはさせない」と、縁を結んでくれる。

所 佐賀市金立町千布3055-3付近



④徐福長寿館

日本唯一の徐福の公的資料館。佐賀の徐福伝説発信の中心施設で、徐福や薬草に関する様々な情報はここで得られる。

所 佐賀市金立町大字金立1197-166 開 9:00~17:00 休 月曜 祝日の翌日 年末年始
料 大人300円 小中学生150円 ☎0952-98-0696



⑤金立神社(上宮)

金立山頂にある、徐福を祀る神社。天皇も参拝した由緒ある神社で、その徳を感じつつ、徐福が開拓した佐賀平野を見渡そう。

所 佐賀市金立町大字金立3415 開 9:00~17:00 休 月曜 祝日の翌日 年末年始
料 大人300円 小中学生150円 ☎0952-98-1409

壳茶翁足跡探訪コース【約2時間】(移動約65分+観光散策約55分)

モデルコース 日本茶栽培の発祥地から壳茶翁ゆかりの地を巡り、お茶を親しみ、禅を体験する



①靈仙寺跡の茶園

日本茶樹栽培発祥の地。1191年、栄西禅師が中国から持ち帰ったお茶を当時九州の山岳仏教の聖地だった霊仙山腹で栽培した。

所 神埼郡吉野ヶ里町松鹿九瀬谷1923
間 吉野ヶ里町東脊振園舎
商 工観光課 ☎0952-37-0350

※大雨災害の影響により通行できません。(2023年1月現在)





成富兵庫茂安

今も遺構が残る治水の神

武将から治水家へ鮮やかな転身

肥前国を治めていた龍造寺氏の家臣である成富信種の次男として生まれる。11歳で主君の龍造寺隆信の小姓として仕えるようになり、17歳で初陣。以降、幾多の戦いで武功を上げ、豊臣秀吉の朝鮮出兵では鍋島直茂から全権を任せられ活躍。また、その知略ぶりから多くの逸話を残し、武士道書「葉隠」にも多くのエピソードが残されている。

戦国の世が終わると藩内の禄高を上げるために、幾多の水利施設の整備を行う。その実施前には実際に模型を作成して精密な実験をしたと言われる。工事には地元の農民を徴用に当たらせたが、農繁期には作業をさせないなど、その気遣いぶりで領民から親しまれた。

茂安自身は1634年、75歳での生涯を閉じるが、彼の水利システムは今でも現役で、佐賀平野の稻田を潤し続けている。



初陣はフライング 父が救った命

若い頃の茂安は血気盛ん。11歳の時に若すぎると初陣の許可が出なかたため、独断で戦場で物見を行い、それが龍造寺隆信の目に留まり、以来小姓として仕えるようになる。さらに18歳の時に博打にハマり父の粉倉まで失ってしまう。いつそ殺してしまうという親族に対し、父信種は一年だけ待ってくれと茂安を徹底的に指導。その心に打たれた茂安は見事更生を果たすのだった。

戦国一の策士 普請場の陣取り合戦

大阪での普請（工事）を命じられた時のこと。作業するため必要な場所は既に他藩が押さえていた。そこで、夜中にその脇の川の中に杭を打ち込み、翌日に「3日前に杭を打って場所を確保しておいたが、水が増えて見えなくなつてようだ」とその杭を引き抜き、その場所を横取りしてしまったんだとか。「茂安は戦国一の曲者（くせもの）」との異名さえついた。



▲「鎧色塗絵糸威仮二枚胴具足」
天草の戦いにおいて加藤清正に加勢したこと
から、清正より授けられた甲冑（鍋島報效会蔵）

【概略年表】		数え年
1560	永禄3年	1
1570	元亀元年	11
1576	天正4年	17
1580	天正8年	21
1589	天正17年	30
1592	文禄元年	33
1597	慶長2年	38
1600	慶長5年	41
1615	元和元年	56
1634	寛永11年	75

誕生。幼名千代法師丸、のちに新九郎と名乗る
今山の陣。隆信の小姓として仕えるようになる
藤津郡横造城攻めに従軍し初陣を飾る
筑後生駒城攻め。十の武功を上げ十右衛門賢種と改名
天草騒動平定に加勢。加藤清正と出会う
文禄の役。龍造寺家の名代、鍋島直茂のもと朝鮮に出兵
慶長の役。鍋島勝茂（直茂の子）を助け朝鮮に出兵
慶長の役。鍋島勝茂（直茂の子）を助け朝鮮に出兵
関ヶ原の戦い。鍋島軍は西軍。伏見城などを攻める
この頃から各所の水利工事を始める
筑後川の千栗の土居（みやき町）
脊振山の蛤水道（吉野ヶ里町）
嘉瀬川の石井樋（いしいひ）（佐賀市大和町）…等
9月18日、死去



「眠るならそばに」。養子に來た藩主の息子に慕われる

茂安は藩主・鍋島勝茂から、その四男の直弘を養子として預けられた。これは成富家の後継ぎとしてではなく、武士として立派に育てて欲しいという思いから。藩主の子供を預けられることから、いかに茂安が信頼された人物だったかが分かる。直弘は後に鍋島家に復籍し白石鍋島家を興すが、その墓は直弘の遺言により、茂安と同じ本行寺に建てられている。父子だった期間は短いものの、茂安と直弘の深い情愛が感じられる。



成富兵庫茂安足跡探訪コース【約2時間】(移動約55分+観光散策約65分)



モデルコース 生誕地から茂安三大事業の一つ、石井樋を経由し、墓地までの功績を辿る



車で約5分



車で約10分



車で約10分



車で約30分



車で約30分

所在地 佐賀市鍋島町大字鍋島1397付近

開 9:30~17:00

休 月曜(祝日の場合は翌日)

料 無料

TEL 0952-62-1277

④葉隠発祥の地

武士のあるべき姿を様々な事例で記した「葉隠」。その口伝と執筆が行われた「朝陽軒」があった。林の中に碑が立つ。

所在地 佐賀市大和町大字尼寺1363付近

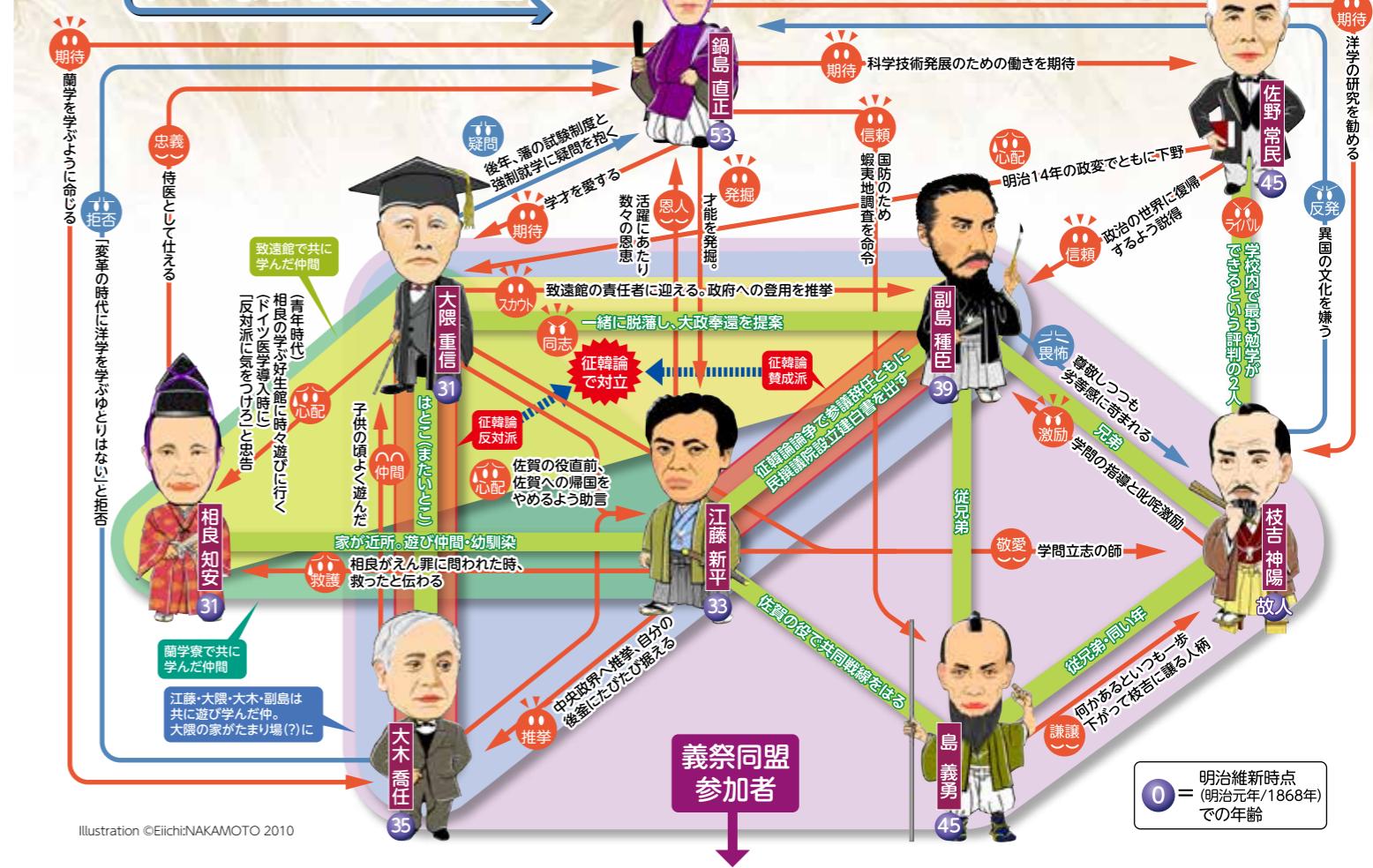
TEL 0952-23-2788

FAX 0952-23-2788

TEL 0952-23-2788

FAX 0952-23-2788

特別編集 幕末・維新时期の佐賀の賢人たち 人物相関図



義祭同盟とは…



義祭同盟とは弘道館の教諭であり、国学者であった枝吉神陽が1850年（嘉永3年）に設立した勤王結社。表向きは楠公父子像を祀る崇敬の集いでしたが、実際は尊王論を広げ天下國家の行く末を語りあう塾の趣を帯びていました。毎年旧暦5月25日には親や兄弟姉妹にも秘密にし、佐賀藩の若き志士たちが集い、議論を深めています。

初期メンバーには、副島種臣、島義勇、大木喬任らの名前

があり、後に江藤新平や大隈重信らも参加しています。他にも佐賀藩の家老であった鍋島安房（あわ）や、後に岩倉使節團に同行する久米邦武らの名前も残っており、その参加者には幕末維新时期の中央政府で活躍した人物も数多くいました。後に二度の総理大臣を務めた大隈重信は「予がこれに加盟したのが、世に出て志を立てるきっかけになったと言つてもよい」と回顧しています。

楠神社の隣には義祭同盟の碑が建立。現代でも毎年5月には楠正成・正行親子を讃える「楠公祭」が行われています。

幕末・維新の賢人 グルメ&グッズ

賢人にまつわるエピソード料理やデザートがぎゅぎゅっと詰まつた

義祭弁当



義祭同盟参加者に鍋島直正、佐野常民を加えた「8賢人」にゆかりのある惣菜を集め、幕内の内弁当に。人気商品なので、前日の予約が必要。

価格: 1,180円（お茶付）

販売・販売・お問い合わせ: 林檎亭

所在地: 佐賀市金立町大字金立1557付近

TEL: 0952-24-1813

専攻学部・お仕事ごとにゲットしてもよし!
受験や勉学のお守り代わりに

佐賀賢人バッジ



一枚一枚が「学部別・専攻別」の受験や勉強のお守り代わりに!あなたの目標に合わせて買おうも良し、12人一気に揃えるも良し。

価格: 1個150円（税込）

販売所: 佐賀市観光交流プラザ、佐賀市観光案内所、佐賀城本丸歴史館、佐野常民記念館、大隈重信記念館など。

*佐賀市観光交流プラザのみ郵送も受け付けております(送料はお客様ご負担です)。

個性派揃いの8人がお待ちしています
幕末・維新 佐賀の八賢人

おもてなし隊



佐賀の8人の賢人の業績と佐賀の歴史と誇りを笑いと涙で伝える演劇ユニット。2012年9月より始めて観客は90,000人を突破満席率97.3%と大好評です。

お問い合わせ: 電話090-9077-5761 (魅力発掘プロデュース協会 中本)

毎週日曜日、
佐賀城本丸歴史館で
一日5回の無料寸劇を
開催する



佐賀の8人の賢人の業績と佐賀の歴史と誇りを笑いと涙で伝える演劇ユニット。2012年9月より始めて観客は90,000人を突破満席率97.3%と大好評です。

お問い合わせ: 電話090-9077-5761 (魅力発掘プロデュース協会 中本)

